

日中サービス支援型共同生活援助における評価根拠

日中サービス支援型指定共同生活援助を行う事業者は、日中サービス支援型指定共同生活援助事業所を地域に開かれたサービスとすることにより、当該サービスの質の確保を図る観点から、年に1回以上、当該事業所が所在する市町村の自立支援協議会等に対し、当該事業の実施状況等を報告し、市町村協議会等から評価を受けるとともに、必要な要望、助言等を聴かなければならないものとする規定されています。

また、知事が必要と認める場合に設置者は新規指定申請時にあたり、市町村協議会等に対し、運営方針や活動内容を説明の上、当該協議会等による評価を受けるものとされています。

【日中支援型共同生活援助における協議会等への報告・協議会等からの評価等に関する実施要綱】に基づく

評価の目的

日中サービス支援型共同生活援助の運営にあたっては、地域に開かれたサービスとすることにより、サービスの質の確保を図る観点から、実施するものです。

評価の視点

利用者に応じて外部サービスも利用し、日中サービス支援型共同生活援助サービスの提供が漫然かつ画一的なものとならないよう配慮されているか。

地域住民または地域活動との交流に努めているか。

1. 必要書類の提出

時期:6月

対象:新規指定後は1年以内、以後は1年ごとに提出

内容:報告・評価シートを市へ提出

2. 市町村協議会の評価部会にて評価実施(ヒアリング審査)

時期:7月

内容:事業所同席のもと、「報告・評価シート」に基づき質疑応答等を行う。

評価者:日中サービス支援型共同生活援助評価部会委員5名

3. 市町村協議会にて評価実施(評価の確定)

時期:8月

内容:「報告・評価シート」及び事業所への質疑内容等に基づき評価の確定を行う。

評価者:協議会委員15名

4. 事業所への結果通知

時期:9月

内容:市町村協議会より事業所に助言・要望等の通知を行う。

5. 市町村協議会から県協議会へ結果の報告

時期:千葉県総合支援協議会が別に定める期日

内容:市町村協議会が県協議会に報告書を提出

6. 県協議会による市町村協議会への助言等

時期:県協議会へ結果の報告後

内容:県協議会は市町村協議会に対し、必要に応じて助言等を行う。

7. 次回以降の指導・評価に向けた改善

時期:県協議会による市町村協議会への助言後

内容:市町村協議会は県協議会の助言等を参考に、次回以降の事業所の評価・助言等における全体的な資質向上に努める。

日中サービス支援型共同生活援助事業所と通所事業所を同一敷地内に設置予定の場合など(知事が必要と認める場合)に、事前評価が必要となります。

1. 必要書類の提出

時期: 8月の市町村協議会で評価を行う場合 → 4月

2月の市町村協議会で評価を行う場合 → 9月

対象: 知事が必要と認める場合のみ事前に提出

内容: 報告・評価シートを協議会へ提出

2. 市町村協議会の評価部会にて評価実施(ヒアリング審査)

時期: 6月と11月に開催 いずれかの評価部会にて評価実施

内容: 事業所同席のもと、「報告・評価シート」に基づき質疑応答等を行う。

評価者: 日中サービス支援型共同生活援助評価部会委員5名

3. 市町村協議会にて評価実施(評価の確定)

時期: 8月と2月に開催 いずれかの協議会にて評価実施

内容: 「報告・評価シート」及び事業所の質疑内容等に基づき評価の確定を行う。

評価者: 協議会委員15名

4. 事業所への結果通知

時期: 市町村協議会での評価実施翌月

内容: 市町村協議会より事業所に助言・要望等の通知を行う。

※市町村協議会から県協議会への結果報告等は、実施の流れ(既に指定を受けている場合)の5~7と同様に行います。

5. 県への結果報告

時期: 事業所への結果通知後

内容: 事業所は市町村協議会での結果通知を添付し、県に報告のうえ新規指定を受ける。

1. 実施の趣旨説明

評価部会の開催意義について(15分程度)

2. プレゼン、質疑応答

事業所による報告・評価シートの内容説明(15～20分程度)

各委員による必要事項の質疑応答(10～15分程度)

3. 評価

各委員による評価シートの記載(10分程度)

※評価部会の1週間後までに評価を提出(当日の提出も可)

令和4年度第2回松戸市地域自立支援協議会において、日中サービス支援型共同生活援助の評価について、評価部会を設置して付託することが決定した。同協議会にて、下記の委員5名が評価部会員に選出された。

評価担当者

松戸市地域自立支援協議会

日中サービス支援型共同生活援助評価部会 委員

1. 江波戸 達郎 委員【(特非)LIFACT 代表理事】
2. 今成 貴聖 委員【中核地域生活支援センターほっとねっと センター長】
3. 中山 忠史 委員【千葉県立松戸特別支援学校 教頭】
4. 和田 美穂 委員【(社福)松戸市社会福祉協議会】
5. 早坂 裕実子 委員【(社福)まつど育成会 統括施設長】

報告・評価シート

【報告日 令和5年 6月 14日】

【評価日 令和5年 7月 5日】

項目	【事業所記入欄】								
1 施設概要	事業者名	あおば				人員配置	日中		
	指定日	令和2年	4月	1日	世話人		生活支援員		
	所在地	松戸市金ヶ作422-2					27人	18人	
	定員数（共同生活援助）	39人					(常勤換算後)	(常勤換算後)	
	定員数（短期入所）	4人					12.4人	12.4人	
	共同生活住居数	4戸					夜間		
	【住居の内訳】	【定員数の内訳】					世話人（夜間）	世話人（夜間）	
	あおば五香	8名					27人	人	
	あおば八柱	6名					(常勤換算後)	(常勤換算後)	
	あおば金ヶ作	5名							
あおば六実A棟	10名								
あおば六実B棟	10名				7.0人	人			
2 利用者状況 (令和 年 月 日 現在)	障害支援区分	人数				内訳	主な障害種別利用者人数（重複はそれぞれ記入）		
	非該当	人					身体	総 数：	1人
	区分1	人						主に日中GHで過ごす人数：	0人
	区分2	人					知的	総 数：	37人
	区分3	2人						主に日中GHで過ごす人数：	0人
	区分4	3人					精神	総 数：	人
	区分5	8人						主に日中GHで過ごす人数：	人
	区分6	24人					難病等	総 数：	人
	合計	37人					主に日中GHで過ごす人数：	人	
	年齢	人数				内訳	障害特性		
	～20代	3人					医療的ケアが必要な者	人数	
	30代	1人					強度行動障害がある者	7人	
	40代	20人							
	50代	12人							
60代～	1人								

※指定前の事前評価の場合は、その時点で予定している内容を回答して下さい。

項目	【事業所記入欄】 具体的な内容	【市町村協議会等記入欄】 要望・助言・評価
3 設立目的・運営方針	<p>【設立目的】利用者が地域において共同して自立した生活を営むことができるよう、利用者の身体及び精神の状態、並びにその置かれている環境に応じて、適正かつ効果的支援すること</p> <p>【運営方針】関係法令を遵守し、他の社会資源との連携を図り、適正かつきめの細かい共同生活援助サービスの提供を行う。</p>	<p>地域で生活する拠点を作っていくために、利用者の身体及び精神の状態に応じて支援していく方針が感じられ、本人の自己決定を尊重した支援が行われていることがうかがえます。</p>
4 利用者の主な日中の活動について	<p>・GH内で主にどのような日中サービスを提供しているか。</p> <p>ドライブ、買い物、ウォーキング等</p> <p>・外部の日中活動サービス等の利用人数及び内容について 前項「2 利用者状況」記載の利用者のうち、外部の日中活動サービスの利用者人数： 37人</p> <p>(主な外部の日中活動サービスの種類を記入) 生活介護事業、就労継続支援B型事業</p> <p>・外部の日中活動サービス等を利用していない方について 外部の日中サービスを利用していない方がいる場合は、その主な理由と、GH内での生活スケジュールの個々の事例を挙げてください。</p> <p>該当なし</p>	<p>平日は入居者全員が外部の日中活動サービスを利用しており、外部のサービスと連携して充実を図られている点が評価できます。</p> <p>不在時対応の職員数も充足しているように感じました。</p> <p>また、ドライブや買い物等の行き先について、可能な範囲で選択肢が増えるとよいかと思われます。</p>

※指定前の事前評価の場合は、その時点で予定している内容を回答して下さい。

項目	【事業所記入欄】 具体的な内容	【市町村協議会等記入欄】 要望・助言・評価					
5 利用者に対する地域生活の支援状況について	<p>・利用者に対して外出や余暇活動の支援に努めているか。</p> <p>休日等GHにいる方については、移動支援を利用し外出する機会の確保に努めている。移動支援を利用しない場合でも、散歩やドライブの機会を設けるようにしている。</p>	<p>休日にも移動支援を活用することで外出の機会の確保に努め、余暇の充実を図られており評価できます。</p> <p>一方で市内の移動支援事業所の数が少なく、土日は在宅の方の需要もあるため、次回の評価部会時に入居者で移動支援を契約している方の数や、月の利用割合等をお示してください。</p> <p>また、休日時や月単位の支援計画を策定していない場合には併せて策定をお願いします。</p> <p>体験利用については、実人数3名のうち2名が本入居に至った点や、複数回の受け入れ及び即時入居を前提としない受け入れをされている点が評価できます。地域に根付いた活動をされている貴法人の性格上、より多くの方の体験利用を受け入れていただきたいです。</p>					
	<p>・体験的利用等のニーズに対応しているか。</p> <p>(これまでの体験利用者の人数を記入)</p> <p>体験利用者数：4名</p>						
	<p>(体験利用の事例を記入) 近い将来GH入居を視野に、どのような生活を送るのか経験として利用。</p>						
	<p>6 同一敷地内に設置した通所事業所について</p> <p>※該当する場合のみ回答</p>		<p>・通所事業所の概要について</p> <table border="1" data-bbox="436 837 1193 976"> <tr> <td data-bbox="436 837 779 885">事業所名</td> <td data-bbox="779 837 1193 885"></td> </tr> <tr> <td data-bbox="436 885 779 933">サービス種別</td> <td data-bbox="779 885 1193 933"></td> </tr> <tr> <td data-bbox="436 933 779 976">利用定員</td> <td data-bbox="779 933 1193 976"></td> </tr> </table>	事業所名		サービス種別	
事業所名							
サービス種別							
利用定員							
<p>・通所事業所での日中活動の具体的な内容</p>							
<p>・日中支援型GH入居者の当該通所事業所の利用状況</p>							
<p>【GHからの利用人数】 人</p> <p>【通所の頻度】 1週間に 日程度</p>							
<p>・当該通所事業所以外にも日中活動の機会を確保できるよう実践している工夫・取り組み</p>							

※指定前の事前評価の場合は、その時点で予定している内容を回答して下さい。

項目	【事業所記入欄】 具体的な内容	【市町村協議会等記入欄】 要望・助言・評価				
7 地域に開かれた運営について	<p>・家族や地域住民との交流の機会が確保されているか。</p> <p>ご家族は常に来訪可能で、入居者の部屋への出入りは自由にしている。また、各住居はそれぞれ町内会に入会しており、ゴミ当番等を輪番で行っている。</p>	<p>家族の出入りが自由であり、積極的な地域参画を行う等開かれたグループホームであると思われます。地域の町内会に入会しゴミ当番等を担うなど、地域とのつながりを持った生活が送れるよう配慮されており評価できます。</p> <p>地域活動については地域との交流が自然に行え、地域における障害啓発の点からも非常に大切ですので、継続して実施いただきたく思います。</p> <p>居室の出入りは自由とありますが、たとえご家族であっても不在の場合にはあらかじめご本人の許可が必要と思われるので、家族が来所された際の過ごし方についてご留意いただけるとより良いかと思えます。</p>				
	<p>・実習生やボランティアを積極的に受け入れているか。</p> <table border="1" data-bbox="436 742 1193 837"> <tr> <td data-bbox="436 742 772 837">受け入れ人数</td> <td data-bbox="772 742 1193 790">実 習 生： 5人</td> </tr> <tr> <td></td> <td data-bbox="772 790 1193 837">ボランティア： 人</td> </tr> </table>	受け入れ人数	実 習 生： 5人		ボランティア： 人	<p>平日は全員が日中外部サービスを利用されているため、実習生の受け入れが難しいと思われるのですが、同法人内の実習生向けに見学を行うなどの工夫をしてグループホームへの理解促進及び人材育成に努めている点が評価できます。</p> <p>利用者にとっては日常の生活空間であるため、実習生やボランティアの受け入れに際し、基準やマニュアル等の作成をご検討ください。</p>
	受け入れ人数	実 習 生： 5人				
		ボランティア： 人				
<p>GHでの実習は受けていないが、法人内の日中活動施設の実習生にGH見学をしてもらい、GHへの理解を深めてもらっている。</p>						
8 短期入所の併設について	<p>・前年度の受け入れ人数</p> <p>成人：男性21名、女性10名 児童：男児4名、女児10名</p>					
	<p>・緊急・一時的な支援等の受け入れ人数と事例</p> <p>緊急受け入れ人数：12名</p> <p>両親との意見が合わず、最終的には暴力をふるってしまい、本人が親と共に暮らすことを拒否したため短期入所を利用。本人が納得して生活できるGHが見つかるまで滞在した。</p>					
	<p>松戸市が委託している地域生活支援拠点との棲み分けがあるため、一部評価が難しいところもありますが、多数の利用者を受け入れており、状況に応じて1ヶ月を超える長期利用も行うなど、柔軟な対応をされており評価できます。短期入所や緊急受け入れを多数受け入れていることから、地域の中で欠くことのできない貴重な地域資源となっていることがうかがえました。</p> <p>また、緊急時の対応などレスパイト対応において適切な支援を実施していると感じました。</p>					

<p>9 支援体制の確保について</p>	<p>・日中・土日を含めた常時の支援体制が確保されているか</p> <p>各住居とも利用者がいる限りは十分な体制を整えている。住居によっては夜間職員を2名体制にし、行き届いた支援が提供できるようにしている。</p>	<p>夜間支援体制の手薄さが昨年度までの課題でしたが、改善が見られ、日中・土日とも十分な職員が確保されているかと思われます。助言として、1ヶ月の勤務表が確認できるとさらに良いと思います。</p>
<p>10 相談支援事業者や他のサービス事業所との連携状況について</p>	<p>(具体的な連携状況の事例を記入)</p> <p>入居者本人はもちろんその家族についても相談支援事業者と情報を共有し、新たなニーズや課題について、どのようにしたらクリアできるか共に模索している。また、基幹や子供発達センターからの短期入所の契約を順次進め、有事に備えている。</p>	<p>入居者並びにご家族の相談に丁寧に対応されており、家族のニーズも考慮しつつ多数の短期入所契約を行っている様子が見え、当日対応が求められる緊急利用者の受け入れ先として認知が進み、社会資源として活用される段階にあることがとても評価できます。</p> <p>事前契約等の課題はあると思いますが、これからも「今日使いたい」という利用者のニーズに1件ずつ応えていただければと思います。</p> <p>また、法人内だけでなく法人外の相談支援事業所を利用しており、広く密に連携が取れていると思います。</p>

※指定前の事前評価の場合は、その時点で予定している内容を回答して下さい。

項目	【事業所記入欄】 具体的な内容	【市町村協議会等記入欄】 要望・助言・評価
11 従業員の資格取得状況や実務経験について	<p>・支援スキルの高い管理者を置いているか。</p> <p>(必要な知識または経験として、障害福祉分野での経験やその従事内容、期間、研修の受講経験を記入)</p> <p>知的障害者施設にて生活支援員、サービス管理責任者、施設長を経験し、様々なケースに対応してきた実績あり。</p> <p>経験年数は38年。</p>	<p>利用者のほとんどが知的障害の方のため、知的障害者施設での経験者を柱に人的整備を行っており、強度行動障害に対応するために研修を受けるなど、必要とする資格取得に向けて体制整備に努めている様子がうかがえます。</p> <p>施設長補佐の配置など職員体制の強化を図られているのが見受けられ、スキルの高い職員を配置し、さらに補佐を置くなど職員の層が厚く、施設長不在時でも対応できる点が評価できます。法人内での体制整備が行われたことで、短期入所を含むサービスの充足が期待できます。</p> <p>管理者の方がよりスキルを活かすため、個別支援計画に基づく日々の記録のチェックやスーパーバイズの体制、支援を共有するためのミーティングをどのようにされているかを次回の評価部会でお示しください。</p>
	<p>・支援スキルの高いサービス管理責任者を置いているか。</p> <p>知的障害者施設にて20年勤務し、その間、社会福祉士の資格を取得。その他、サビ管研修、強度行動障害支援者養成研修(実戦研修)等受講し、今年度あおばのサビ管として異動。</p>	
	<p>・支援スキルの高い従業員を置いているか。</p> <p>常勤の生活支援員のうち11名は強度行動障害支援者養成研修(基礎研修)を受講済みで、そのうち6名は実践研修受講済みである。社会福祉士3名、介護福祉士2名、精神保健福祉士1名の資格者有り。</p>	
12 障害福祉関連事業における経験がない従業員に対する対応	<p>・事業所内、外部研修の年間受講計画はあるか。</p> <p>法人内で年間研修計画を立て、それに基づいて研修を実施している。(別紙職員研修計画参照)</p> <p>外部研修については、その都度案内に従い、該当する者に受講を促している。</p>	<p>パート職員も含め全職員が参加できる研修を計画的に実施されており評価できます。パート研修については職員から継続して実施の希望があることから、引き続き実施をお願いいたします。</p> <p>助言として、研修を受講された後の報告及び事業所内のフィードバック体制を整えていただくとより良いかと思われます。</p>
	<p>・資格取得への取り組みはあるか。</p> <p>講習を受講することで取得できるものは、適任と思われる者に積極的に受講を促している。国家資格については資格取得後、資格手当として給与に反映するようにしている。</p>	<p>資格取得が給与に直接関与するため、職員の資格取得に対する意欲が向上するようになっており、法人として資格取得を促す取り組みがされていると思います。</p>

※指定前の事前評価の場合は、その時点で予定している内容を回答して下さい。

項目	【事業所記入欄】 具体的な内容	【市町村協議会等記入欄】 要望・助言・評価
13 利用希望者の受け入れ可否の判断基準について	<p>・利用希望者の受け入れ可否の判断基準はあるか。 明確なものではなく、体験利用でGHの暮らしを経験した上でご本人が家庭を離れた生活に順応し、入居を希望した場合受け入れ可能としている。その際、相談支援事業者やご家族、関係機関等による最終的な調整会議を行い判断している。</p> <p>・実際に利用希望があった時に受け入れを断った例はあるか 食へのこだわりにより極端な偏食で、GHでの食事を受け入れることができなかつたため、健康が保てないのではという危惧から入居を断念した。</p>	<p>利用希望者を幅広く受け入れている様子がうかがえ、相談支援事業所を交え利用者及びご家族が納得して入居に至るように工夫されている点や、他の入居者との相性も考慮しつつ調整されている点が評価できます。</p> <p>助言として、日中支援型の目的である高齢・重度の方を優先するための仕組みや、入所希望登録・入所判定会議などの仕組みを構築していく必要があると思われます。</p> <p>1回の体験でGHでの生活が難しいとされた人にも複数回の体験を通じ、偏食の課題を本人のペースに合わせて改善して本入居に結びつけた実績はとても評価できます。</p>
14 協議会からの要望、助言への対応（2回目以降記入）	<p>これまで正規職員並びにフルタイムで勤務する非正規職員については、研修会への参加等積極的に促してきたが、パートで勤務する世話人等への研修が不十分だった。そこで、パートも含め参加できるGH職員全員で研修会を開催したところ、今後も開催してほしいという意見が多く聞かれたことは収穫だったので、今年度も開催し支援スキルの向上に役立てたいと思っている。</p>	<p>パート職員も含めた全職員が参加できる研修を設け、全体のスキル向上を目指す取り組みがされており評価できます。福祉業界は多忙な職種のため、研修の形態や方法など工夫を凝らして実施していくことが必要であると思われます。さらなる研修の充実を期待いたします。</p>

<p>15 その他</p>	<p>(その他、独自の工夫点がある場合記入)</p> <p>五香：2階3階が居室のため、体調不良時には支援者がすぐに対応できるよう、1階に静養室を用意。</p> <p>八柱：機械浴設置。車いすですれ違えるよう廊下が広く、車いすで建物内に入る際のスロープも設置。</p> <p>六実：浴室に転倒防止用に手すりを多く設置。機械浴設置</p> <p>課題として、ご家族の高齢化により車の免許を返納する方も多く、GHから自宅に帰省する際の手段がない人が多くなっている。しかし、GHには送迎サービスがないため、今後益々増えるであろうこの問題に対し、どうすればよいか相談支援事業所も交えて検討していくべきと考えている。</p>	<p>全体的に適正に運営されていると思います。各施設の環境に応じて独自の工夫を行い、課題に合わせた対応をしながら利用者の安全や生活のしやすさを考慮して施設の設立・運営がされている点が評価できます。</p> <p>課題については、グループホーム全体が抱える共通の課題であると思われるので、先駆的な課題解決への取り組みを期待しております。</p> <p>会議内で言及がありましたが、あおば五香については設立当初は日中サービス支援型ではなく、日中サービス支援型の指定を受けられた際に事業所等の都合により、事後的に指定を受けたという経緯がわかりました。</p> <p>施設の設備や現状利用されている方の状態、職員配置等を鑑みますと、今後も全ての住居が日中サービス支援型として運営をしていくべきであるか、日中サービス支援型の意義や請求単価等と照らし合わせて今一度ご検討くださいますようお願いいたします。</p>
---------------	---	--

※指定前の事前評価の場合は、その時点で予定している内容を回答して下さい。

報告・評価シート

【報告日 令和 5 年 6月 1日】

【評価日 令和 5 年 7月 5日】

項目	【事業所記入欄】							
1 施設概要	事業者名	ソーシャルインクルーホーム松戸東平賀			人員配置	日中		
	指定日	令和2年	9月	1日		世話人	生活支援員	
	所在地	千葉県松戸市東平賀275-1				10人	3人	
	定員数（共同生活援助）	10人				（常勤換算後）	（常勤換算後）	
	定員数（短期入所）	1人				3.40人	2.52人	
	共同生活住居数	1戸				夜間		
	【住居の内訳】	【定員数の内訳】				世話人（夜間）	生活支援員（夜間）	
	【ソーシャルインクルーホーム松戸東平賀】	10名				9人	2人	
	【短期入所松戸東平賀】	1名				（常勤換算後）	（常勤換算後）	
	【住居名を記載】	名				1.14人	0.24人	
2 利用者状況 (令和5年6月1日 現在)	障害支援区分	人数			内訳	主な障害種別利用者人数（重複はそれぞれ記入）		
	非該当	人				身体	総 数：	5人
	区分 1	人				主に日中GHで過ごす人数：		0人
	区分 2	人				知的	総 数：	3人
	区分 3	人				主に日中GHで過ごす人数：		0人
	区分 4	4人				精神	総 数：	5人
	区分 5	6人				主に日中GHで過ごす人数：		1人
	区分 6	人				難病等	総 数：	1人
	合計	10人			主に日中GHで過ごす人数：		0人	
	年齢	人数			内訳	障害特性		
	～20代	1人				医療的ケアが必要な者	人数	
	30代	1人				強度行動障害がある者	0人	
	40代	3人						
	50代	4人						
	60代～	1人						

※指定前の事前評価の場合は、その時点で予定している内容を回答して下さい。

項目	【事業所記入欄】 具体的な内容	【市町村協議会等記入欄】 要望・助言・評価
3 設立目的・運営方針	<p>【設立目的】 (別紙でも可) 共同生活援助と短期入所の運営規定を添付いたします。 運営規定 第1条をご参照ください。</p> <p>【運営方針】 (別紙でも可) 共同生活援助と短期入所の運営規定を添付いたします。</p>	<p>運営方針から家族との連携を図りながら利用者の生活の安定を目指す姿勢が感じられ、日中サービス支援型の目的を理解して、適切に運営されていると思われます。</p> <p>また、資料から、本施設は衛生的で個人のプライバシーも考慮された設計となっており、事業目的にある「障害者の意思及び人格の尊重」を実現しやすい設計となっているように感じました。</p>
4 利用者の主な日中の活動について	<p>・GH内で主にどのような日中サービスを提供しているか。</p> <p>食事提供・入浴介助・排泄介助・体位交換・更衣介助・居室掃除・洗濯補助・健康管理・受診同行・外出同行などの利用者様で出来ない部分を支援しています。また、一緒に余暇活動（散歩や塗り絵等）も行っております。</p> <p>・外部の日中活動サービス等の利用人数及び内容について 前項「2 利用者状況」記載の利用者のうち、外部の日中活動サービスの利用者人数： 9人</p> <p>(主な外部の日中活動サービスの種類を記入) 生活介護・6名 就労継続支援B型・2名 デイサービス・2名</p> <p>・外部の日中活動サービス等を利用していない方について 外部の日中サービスを利用していない方がいる場合は、その主な理由と、GH内での生活スケジュールの個々の事例を挙げてください。</p> <p>職員が話しかける事が多いと、怒鳴るような声出しを始めます。また周りの会話する声から、緊張や不安感から声出しがあり主治医に「日中活動について」相談していましたが、様子見とのご判断でした。訪問看護に入って頂き経過観察をしておりましたが、精神状態が安定してきたので、日中活動について検討しています。GH内では、規則正しく生活しており、日によっては買物や散歩も職員が同行し行っています。テレビを観て過ごす事が多いですが、不穏に気遣いながらコミュニケーションを取っています。</p>	<p>平日はほとんどの入居者が外部の日中活動サービスを適切に利用されており、日中活動先とも調整や連携をされており評価できます。</p> <p>日中活動サービスを利用していない利用者に対しても、難しいながら状態に応じてコミュニケーションをとり、利用者のペースに合わせた段階的な対応や支援を行うことで、生活の安定に努めていると思われます。</p> <p>その他に散歩等の余暇活動も用意し、生活の質の向上を図っていることがうかがえ、全体的に利用者の情緒を確認しながら、日常生活の安定を基盤として余暇活動の充実を図る方針を感じました。</p> <p>また、ADLが低下している方に対して、利用者の状態・状況に応じ、多岐にわたり寄り添った支援を適切に行っている様子がうかがえます。</p> <p>要望として、日中サービス支援型グループホームという性質上、閉鎖的な環境になりやすいため、利用者の個別支援会議を実施し、関係機関と共に対応について引き続き協議をお願いいたします。</p>

※指定前の事前評価の場合は、その時点で予定している内容を回答して下さい。

項目	【事業所記入欄】 具体的な内容	【市町村協議会等記入欄】 要望・助言・評価										
5 利用者に対する地域生活の支援状況について	<p>・利用者に対して外出や余暇活動の支援に努めているか。 <small>(充実した地域生活を送るために行っている外出・余暇活動等の支援活動の事例を記入)</small> 千葉県障害者スポーツ大会の水泳競技に参加された方や、芸能人のコンサート等の為、仙台まで行かれた方もいます。また友人と外食し楽しんでいる方もおられます。その為、その方のスケジュールに合わせ、入浴時間や食事提供の時間を変えたり、安全に帰所できるように声掛けをしています。</p> <p>・体験的利用等のニーズに対応しているか。 <small>(これまでの体験利用者の人数を記入)</small> 令和4年5月1日から令和5年6月1日までの間、有償体験1名様。そのままご入居。弊社施策の無料の体験入所1名、そのままご入居。 <small>(体験利用の事例を記入)</small> ご自宅からのご入居で、自立を目的として体験利用。不穩になる事もなく過ごされたので、そのままご入居する運びとなりました。</p>	<p>個人の興味や関心に合わせて活動内容を選定することで利用者の自己決定を尊重しており、利用者の人格を尊重した運営を感じました。</p> <p>スケジュール等を考慮して日常生活の支援を柔軟に対応するなどのサポート体制が整えられており、休日に外出する利用者に応じた支援を提供している点が評価できます。</p> <p>また、貴社施策の無料体験は、初めてグループホームの体験を行う利用者にとって大変ありがたいものであると思われるので、今後とも続けていただければ幸いです。</p>										
6 同一敷地内に設置した通所事業所について ※該当する場合のみ回答	<p>・通所事業所の概要について</p> <table border="1" data-bbox="434 746 1205 890"> <tr> <td>事業所名</td> <td></td> </tr> <tr> <td>サービス種別</td> <td></td> </tr> <tr> <td>利用定員</td> <td></td> </tr> </table> <p>・通所事業所での日中活動の具体的な内容</p> <p>・日中支援型GH入居者の当該通所事業所の利用状況</p> <table border="1" data-bbox="434 1150 1205 1238"> <tr> <td>【GHからの利用人数】</td> <td>人</td> </tr> <tr> <td>【通所の頻度】</td> <td>1週間に 日程度</td> </tr> </table> <p>・当該通所事業所以外にも日中活動の機会を確保できるよう実践している工夫・取り組み</p>	事業所名		サービス種別		利用定員		【GHからの利用人数】	人	【通所の頻度】	1週間に 日程度	
事業所名												
サービス種別												
利用定員												
【GHからの利用人数】	人											
【通所の頻度】	1週間に 日程度											

※指定前の事前評価の場合は、その時点で予定している内容を回答して下さい。

項目	【事業所記入欄】 具体的な内容	【市町村協議会等記入欄】 要望・助言・評価				
7 地域に開かれた 運営について	<p>・家族や地域住民との交流の機会が確保されているか。</p> <p>散歩や通院等の同行の際に、近隣の方と交流を持つ様に挨拶や会話等をしております。また、コロナ等の感染症対策をしながら、面会の制限はせず、自由にご面会をしていただけるようになっております。また、ホームで行う救命訓練について、管轄されている消防署に相談しましたが、GHへ来所して訓練することは、現在行っていないとの事でしたので、職員を集め消防署へ行き、ご入居されている方の状況を共有し、救命講習を受けてきました。</p>	<p>地域生活を意識された活動をされており、地域とのつながりを持った生活が送れるよう配慮されていて良いと思えます。また、コロナ禍においても家族との面会を常に認めており、家族にとって開かれた環境であることも評価できます。</p> <p>報告からは地域との交流機会が少ないように見えたので、地域のイベント等への参加についてもご検討ください。</p> <p>救命講習への積極的な取り組みはとても評価できます。新入職員が入職された際にはぜひ継続して実施をお願いします。</p> <p>実習生やボランティアの受け入れについては今後の取り組みに期待しております。受け入れにあたってはマニュアルや一定の指針を作成し、利用者にとっての生活の場に他人が入ることへのリスクを軽減していくことが良いと思われれます。</p>				
	<p>・実習生やボランティアを積極的に受け入れているか。</p>					
	<table border="1"> <tr> <td data-bbox="423 667 772 715">受け入れ人数</td> <td data-bbox="772 667 1216 715">実習生： 0人</td> </tr> <tr> <td></td> <td data-bbox="772 715 1216 762">ボランティア： 0人</td> </tr> </table>		受け入れ人数	実習生： 0人		ボランティア： 0人
	受け入れ人数		実習生： 0人			
	ボランティア： 0人					
<p>(受け入れの事例を記入)</p> <p>今までは「コロナ禍」という事もあり、外部からの受け入れが難しかったですが、今後はボランティアの方の受け入れを積極的に検討してまいります。</p>						
8 短期入所の併設について	<p>・前年度の受け入れ人数</p> <p>1名</p>	<p>受け入れ件数がまだ少ないため、今後も実績を重ねていただき、緊急の利用希望への対応を期待しております。</p> <p>併せて、短期入所における周知方法の再検討や相談支援事業所との連携の強化に努めていただきたいと思います。</p> <p>また、松戸市地域生活支援拠点への登録をぜひお願いいたします。</p>				
	<p>・緊急・一時的な支援等の受け入れ人数と事例</p>					
	<p>1名は自立を練習する為の短期入所でした。今後は要請があった際は積極的に受け入れしたいと思います。</p>					

<p>9 支援体制の確保について</p>	<p>・日中・土日を含めた常時の支援体制が確保されているか</p> <hr/> <p>日勤2名・夜勤2名での支援体制です。万が一、不足がある場合は弊社の他事業所からヘルプ要請し、人員の確保に努めております。</p>	<p>日中・夜間とも職員が確保されており、利用者の在住状況を考慮し、日中も2名体制にしている点が評価できます。人員不足にならないよう状況に応じて柔軟な対応をお願いします。</p> <p>要望として、他事業所からのヘルプについての稼働状況や、実際の勤務表について次回報告時にお示しください。また、業務内容についてもう少し詳細にご教示ください。</p>
<p>10 相談支援事業者や他のサービス事業所との連携状況について</p>	<p>(具体的な連携状況の事例を記入)</p> <p>利用者様にお怪我や体調の変化、入院等があった際は、必ず関係する事業所へ情報共有し、必要な時には担当者会議を開き、連携しております。事例としましては、GHの生活にも慣れてきたので、ご家族のご希望もあり、日中活動先を事業所で探し、相談事業所の方と連携し、通所する事ができた方がいます。また、移動支援中に誤嚥で入院した方の退院後の食事について、病院からの指示もあったので、通所先の事業所、相談員、訪問看護師と情報共有し、食事の形態や、どのように支援していくかなどを話し合いました。</p>	<p>利用者の体調管理や生活の質の向上には、他機関との連携が必要不可欠ですが、関係者への情報共有や必要に応じた担当者会議の開催、医療機関との連携等が主体的にされており、柔軟に支援を行っている点が評価できます。</p> <p>相談支援専門員が多忙であるがゆえと思われるのですが、日中活動先をグループホームで探していただけるのは相談支援事業所にとって大変ありがたい反面、本来は相談支援事業所としての業務であることから、相互の役割について引き続きご検討をお願いします。</p>

※指定前の事前評価の場合は、その時点で予定している内容を回答して下さい。

項目	【事業所記入欄】 具体的な内容	【市町村協議会等記入欄】 要望・助言・評価
11 従業員の資格取得状況や実務経験について	<p>・支援スキルの高い管理者を置いているか。</p> <p>(必要な知識または経験として、障害福祉分野での経験やその従事内容、期間、研修の受講経験を記入)</p> <p>令和2年4月 ソーシャルインクルーホーム越谷花田 施設長 令和3年2月～ ソーシャルインクルーホーム松戸東平賀 管理者</p>	<p>サービス管理責任者の配置を行うには基礎研修だけでなく、実践研修を受講する必要がありますので、今一度ご確認をお願いします。</p> <p>人的体制の整備に尽力していることはうかがえますが、基準に沿った資格取得者を配置できるよう、法人として資格取得を勧めてください。</p> <p>報告を通じて、管理者の方の想いは伝わってきましたが、経験のみ足りていないと思われるため、管理者が孤独にならずに安心して経験が積めるようなフォロー体制を整えていただきたいと思います。</p> <p>管理者がスキルを活かすため、現場へのスーパーバイズ体制やミーティング機会の有無、現場職員との会議の頻度については次回の評価部会でお示しください。</p>
	<p>・支援スキルの高いサービス管理責任者を置いているか。</p> <p>平成25年5月～平成30年12月 訪問介護員 平成30年12月～令和2年12月 介護ステーション 訪問介護員 令和2年12月～令和3年12月 就労継続支援A型 職業指導員 資格 精神障害者ホームヘルパー・同行援護従業者・介護福祉士・千葉県相談支援従業者初任者研修・サービス管理責任者基礎研修</p>	
	<p>・支援スキルの高い従業者を置いているか。</p> <p>介護福祉士1名・社会福祉士1名・介護職員初任者研修3名移動支援従業者養成研修1名</p>	
12 障害福祉関連事業における経験がない従業員に対する対応	<p>・事業所内、外部研修の年間受講計画はあるか。</p> <p>事業所内研修：会社での年間研修計画あり。(年間研修スケジュールをご参照ください) 事業所外研修：会社として強度行動障害研修やサビ管に関する研修はエリアマネージャーを中心に受講推奨、管理している。今後、管理者や生活支援員などは率先して取得していきたいと考えております。</p> <p>・資格取得への取り組みはあるか。</p> <p>サービス管理責任者や強度行動障害に関する研修については、受講費の補助あり。その他の資格取得に向けた講習や研修については、上長と検討のうえ、対応しております。</p>	<p>グループホーム職員全員を対象に研修を行い、スキルアップを図っていることがうかがえます。利用者の安全安心につながる災害や人権を保障する内容の研修が年間計画に位置づけられております。</p> <p>研修スケジュールについても適切であると感じます。</p> <p>要望として、様々な障害種別の方がいるため、障害特性については研修の機会を増やしていただき、今後、さらなる研修の充実を図っていただければと思います。</p>

※指定前の事前評価の場合は、その時点で予定している内容を回答して下さい。

項目	【事業所記入欄】 具体的な内容	【市町村協議会等記入欄】 要望・助言・評価
13 利用希望者の受け入れ可否の判断基準について	<p>・利用希望者の受け入れ可否の判断基準はあるか。</p> <p>添付させていただいた運営規定をご参照願います。 共同生活援助：第8条（入居にあたっての留意事項） 短期入居：第9条（サービス利用にあたっての留意事項） あくまで、運営規定にある規定を守っていただくとともに、その方その方の特性に合わせて、ご相談をさせていただいたうえで、個々に決めてまいります。</p> <p>・実際に利用希望があった時に受け入れを断った例はあるか</p> <p>看護師の配置が無い為、医療ケアが必要な方はお断りした事がありました。</p>	<p>利用者やご家族との相談を行いながら受け入れの可否を検討している様子がうかがえます。最低限の規定を整備した上で、多様な障害種別をもつ利用者の受け入れを行っており、明確な基準を運営規定に記載されている事は素晴らしいと思います。</p> <p>要望として、日中支援型の目的を鑑みると重度・高齢化への対応は大きなテーマであり、医療的ケアや服薬管理などの対応から、看護師の配置について今後検討していただければと思います。</p>
14 協議会からの要望、助言への対応（2回目以降記入）	<p>前回のご要望、助言に対しまして「非常災害対策計画」を作成いたしました。こちらをご参照願います。</p>	<p>非常災害対策計画は綿密な対策計画が示されており、他機関との連携もスムーズに行うことができるように準備していることがうかがえ、他のグループホームのお手本となるとても評価できる内容です。</p> <p>他にも日中・夜間それぞれの避難訓練が実施され、非常時に対する研修が充実していることがうかがえました。</p> <p>助言として、研修計画に避難訓練が記載されておりますが、避難訓練とは別に災害時対策のための研修を実施していただくにより良くなるかと思われます。</p>
15 その他	<p>（その他、独自の工夫点がある場合記入）</p> <p>※設備のバリアフリー化や日中に外部の事業所を利用している方への送迎支援等</p> <p>玄関のスロープ・車いす用トイレ・リフト浴・エレベーターの設備があり、洗面台の一つは1階・2階と共に車いすの方でも使いやすいようになっております。</p> <p>服薬管理も行っている為、かかりつけ薬局を統一し、入居者様の服薬を薬剤師と情報共有しており、誤薬が起きないように管理していただき、薬の使用方法が不明な時は相談出来るように連携しております。</p>	<p>全体的に適正に運営されていると思います。</p> <p>重度・高齢をはじめとした多彩な利用者に対応できるよう、エレベーターの設置等バリアフリー化への取り組みや、コロナ対策をふまえた食事の居室配膳、入浴の見守りやかかりつけ薬局の統一など、事業所による細やかな配慮や対応がうかがうことができ、評価できます。</p>

※指定前の事前評価の場合は、その時点で予定している内容を回答して下さい。

報告・評価シート

【報告日 令和5年 6月 19日】

【評価日 令和5年 7月 5日】

項目	【事業所記入欄】							
1 施設概要	事業者名	株式会社恵			人員配置	日中		
	指定日	令和3年	9月	1日		世話人	生活支援員	
	所在地	千葉県松戸市和名ヶ谷102-4				6人	15人	
	定員数（共同生活援助）	20人				（常勤換算後）	（常勤換算後）	
	定員数（短期入所）	1人				4.0人	5.2人	
	共同生活住居数	2戸				夜間		
		【住居の内訳】	【定員数の内訳】			世話人（夜間）	生活支援員（夜間）	
		【グループホームふわふわ松戸A棟】	10名			5人	12人	
		【グループホームふわふわ松戸B棟】	10名			（常勤換算後）	（常勤換算後）	
						0.9	2.7	
2 利用者状況 (令和5年4月1日 現在)	障害支援区分	人数			内訳	主な障害種別利用者人数（重複はそれぞれ記入）		
	非該当	0人				身体	総数：	1人
	区分1	0人					主に日中GHで過ごす人数：	0人
	区分2	0人				知的	総数：	11人
	区分3	1人					主に日中GHで過ごす人数：	7人
	区分4	6人				精神	総数：	12人
	区分5	3人					主に日中GHで過ごす人数：	7人
	区分6	9人				難病等	総数：	2人
	合計	19人					主に日中GHで過ごす人数：	2人
	年齢	人数			内訳	障害特性		
	～20代	2人				医療的ケアが必要な者	0人	
	30代	2人				強度行動障害がある者	6人	
	40代	6人						
	50代	6人						
60代～	3人							

※指定前の事前評価の場合は、その時点で予定している内容を回答して下さい。

項目	【事業所記入欄】 具体的な内容	【市町村協議会等記入欄】 要望・助言・評価
3 設立目的・運営方針	<p>【設立目的】 株式会社 恵が設置するグループホームふわふわ松戸において実施する指定障害福祉サービスの共同生活援助事業の適正な運営を確保するために必要な人員及び運営管理に関する事項を定め、共同生活援助の円滑な運営管理を図るとともに、利用者の意思及び人格を尊重し、利用者の立場に沿った適切な共同生活援助の提供を確保することを目的とする。</p> <hr/> <p>【運営方針】 株式会社 恵が設置するグループホームふわふわ松戸において実施する指定障害福祉サービスの共同生活援助事業の適正な運営を確保するために必要な人員及び運営管理に関する事項を定め、共同生活援助の円滑な運営管理を図るとともに、利用者の意思及び人格を尊重し、地域での重要な役割を担う社会資源となるため、利用者の立場に立った適切な共同生活援助の提供を確保することを目的とする。</p>	<p>全体としては日中サービス支援型の目的を理解して運営されていると思われませんが、「利用者の意思及び人格を尊重」と触れているものの理念に基づいた設立及び運営についての表記が少ないため、「共同生活援助事業の適正な運営」について、利用者の生活をどのように築いていかれるか再度ご確認していただければと思います。</p>

4 利用者の主な日中の活動について	<p>・ GH内で主にどのような日中サービスを提供しているか。</p>	<p>利用者の特性に応じた日中活動を用意し、検索活動から機能訓練や各種体操など、幅広く用意されているのうかがえます。特に、強度行動障害のある方が多数入居しており、個別にプログラムを用意するなど、グルーピングと個別支援が実施されていることは評価できます。</p> <p>多様な利用者がある中でのグループワークは企画・実施が大変だとは思いますが、引き続き実施をお願いします。</p> <p>また、日中もGHで過ごす11人に対して職員5～6人配置するなど、昨年度より職員を増やし対応しているのがわかりました。</p> <p>支援が難しい方を受け入れていただいておりますが、行動障害及びその対応等について説明が漠然としていたように感じましたので、今後どのように専門性を深め対応をしていく予定か、今一度ご検討ください。</p>
	<p>・ 外部の日中活動サービス等の利用人数及び内容について</p> <p>前項「2 利用者状況」記載の利用者のうち、外部の日中活動サービスの利用者人数： 8人</p>	
	<p>・ 就労B (2名)</p> <p>・ 生活介護系サービス (6名)</p>	
	<p>・ 外部の日中活動サービス等を利用していない方について</p> <p>外部の日中サービスを利用していない方がいる場合は、その主な理由と、GH内での生活スケジュールの個々の事例を挙げてください。</p> <p>グループホーム周辺の日中サービス事業所で、送迎があり、かつ空きのある場所がないことが主な理由です。相談支援事業所等と連携して改善に取り組んでおります。</p> <p>グループホーム内での生活スケジュールについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 午前 創作活動（女性）、機能に応じて体を動す活動（男性） ・ 午後 居室や居間でテレビ鑑賞、職員と歓談（夏場で暑いため） ・ 夕方 職員付き添いで散歩、買い物等 	

5 利用者に対する 地域生活の支援 状況について	<p>・利用者に対して外出や余暇活動の支援に努めているか。</p> <p>塗り絵、折り紙、レジン及びビーズ工作、刺繍、ボール遊びや職員管理のもと調理実習のようなイベント、レクにて余暇活動をしております。</p> <p>外出支援は、近隣のスーパーに買い物支援、地域交流を深めるためお散歩支援時に挨拶運動を行っております。</p>	<p>施設内の日中活動を充実させ、生活安定の基盤を作った上で、利用者が取り組みやすい活動を通して、地域との交流を図っていることがうかがえます。記載から日中に職員が手厚く配置されている印象を受けました。</p> <p>また、グループホーム内のみの生活にならないよう近隣へ外出し、地域での生活を支援しているほか、外出時の「挨拶運動」の取り組みが評価できます。</p>
	<p>・体験的利用等のニーズに対応しているか。</p> <p>(これまでの体験利用者の人数を記入)</p> <p>・18名</p>	<p>体験利用については様々な利用希望に対応して積極的に取り組まれているほか、中長期的なニーズを見据え、入居に向けた体験以外に入居を前提としない体験も積極的に受け入れている点がとても評価できます。</p>
	<p>短期入所は経験があるが、グループホームが未経験の利用者様に対してもホームでの暮らしを体験出来る様にしており、体験から本入居への移行だけでなく今後入居を検討したいというニーズにも対応し、積極的に体験してもらっております。</p>	<p>体験の場として引き続き、体験入居を受け入れる際に入居を希望する方に対しての具体的なアプローチを検討していただきたいと思っております。</p>

※指定前の事前評価の場合は、その時点で予定している内容を回答して下さい。

項目	【事業所記入欄】 具体的な内容	【市町村協議会等記入欄】 要望・助言・評価
6 同一敷地内に設置した通所事業所について <small>※該当する場合のみ回答</small>	・通所事業所の概要について	
	事業所名	
	サービス種別	
	利用定員	
	・通所事業所での日中活動の具体的な内容	
・日中支援型GH入居者の当該通所事業所の利用状況		
・当該通所事業所以外にも日中活動の機会を確保できるよう実践している工夫・取り組み		

7 地域に開かれた 運営について	・家族や地域住民との交流の機会が確保されているか。		<p>家族や地域住民とのコミュニケーションを重視した取り組みはとても評価できます。同じ住居内で生活する入居者のみならず、家族が繋がるという事は大きな強みになりますので、家族会の存在はとても有効と思われます。是非、家族会の実現を望みます。</p> <p>また、散策時の挨拶運動で地域とあいさつで繋がることはとても重要ですので、引き続き実施をお願いします。</p> <p>他にもボランティアグループの演芸鑑賞や、誕生会等のイベントに家族の招待を検討されており、地域に開かれた運営が意識されていると思います。</p>
	・実習生やボランティアを積極的に受け入れているか。		
	受け入れ人数	実習生： 0人 ボランティア： 0人	<p>社会福祉協議会の活用は、相互にとって良い働きが生まれる素晴らしい取り組みと思われます。このような独自の取り組みは、グループホームの風通しを良くする効果もあると思われる、とても評価できます。</p> <p>実習生やボランティアの受け入れについては、人材確保が課題となっている福祉業界において、人材育成の観点から必要と思われます。利用者の安全を考慮しながら受け入れていくことを推奨します。</p>
	<p>家族や保護者の皆さま方とは現在積極的に連絡を取り合っており、内部の状況なども常々把握して頂けるように努めています。コロナ時期とも重なり家族会の実施は行われませんが再度、検討準備しております。散策時において挨拶運動を通してコミュニケーションを深めており、今後ボランティアや実習生の受け入れを行っていきたくと検討しております。</p> <p>松戸市社会福祉協議会様からのご紹介：ベリーダンスサークルにダンスの披露をして頂きました。利用者様にも好評で定期的な開催となっております。（令和4年9月と令和5年1月）</p>		

※指定前の事前評価の場合は、その時点で予定している内容を回答して下さい。

項目	【事業所記入欄】 具体的な内容	【市町村協議会等記入欄】 要望・助言・評価
8 短期入所の併設について	<p>・前年度の受け入れ人数</p> <hr/> <p>・1名</p> <p>・緊急・一時的な支援等の受け入れ人数と事例</p> <hr/> <p>・1名 家族からの要望により、一時的な措置で短期利用して頂きました。</p>	<p>利用希望者のご家族の突発的な状況の変化に短期入所が必要となることもあり、受け入れの枠があることは重要な地域資源となります。現状、セーフティネットとしての機能が活かされていると思いますので、今後も引き続き、短期入所の受け入れをしていただきたいと思います。</p> <p>設立から日が浅くはありますが、短期入所の稼働がまだ少ないように感じますので、引き続き実績を重ねていただくことを期待しております。可能でしたら、松戸市地域生活支援拠点にご登録いただけるようご検討ください。</p>
9 支援体制の確保について	<p>・日中・土日を含めた常時の支援体制が確保されているか</p> <hr/> <p>平日：利用者12名／20名に対して1ユニット2～3名 日中、土日祝：利用者20名に対して1ユニット3～4名 夜間支援：1F（A棟）ユニット2名 2F（B棟）ユニット1名～2名配置にて支援体制を確保</p>	<p>利用者と支援者の人数比から、平日・休日・夜間のいずれも必要な人員は確保されているように思われます。強度行動障害の利用者が複数名いることから、状況によって人員不足にならないよう配慮をお願いします。</p> <p>かなりの方が日中GHで過ごされていることから、生活職員の業務の違いも大きいように思いますので、職員の業務内容や勤務形態について次回の評価部会にてお示しください。</p> <p>また、他のグループホームを含めて、被災時に利用者の安全が確保できるか日々検討いただけますと幸いです。</p>
10 相談支援事業者や他のサービス事業所との連携状況について	<p>地域の相談事業所とは緊急時は勿論、常に施設の状況の連絡を取り合っていて、利用相談や個別支援状況の共有を行っています。</p> <p>通所先の方々とも日々日数を重ねるごとに利用者の様子などが詳細に連絡を取り合える関係性が構築されており、問題や何か気になった点などの相談を行っています。</p>	<p>地域の相談支援事業所や日中の通所先等と常に連携が取れていることは大切であり、評価できます。</p> <p>日中支援型の対象者は重度かつ高齢の方が中心であることから、ライフステージが大きく変わる事も想定されますので、特に相談支援事業所との連携は今後も継続していただきたいと思います。</p> <p>要望として、行動障害の方を受け入れている場合、医療連携が不可欠であると思われますので、病院・クリニック・薬局等とのさらなる連携強化に努めてください。</p>

11 従業者の資格取得 状況や実務経験について	<ul style="list-style-type: none"> ・ 支援スキルの高い管理者を置いているか。 	<p>強度行動障害の利用者が多い中で、強度行動障害に対応した職員を複数名配置しているほか、有資格者や実務経験が10年以上となっている職員もおり、職員を育てながら支援する体制を整えており、安定した支援が期待できます。</p> <p>一方で、管理者については記載から支援スキルの高さが読み取れないため、継続して配置を行うために、周りのサポートが必要と思われます。</p> <p>管理者の現場へのスーパーバイズ体制や、ミーティングの頻度、記録のチェック方法についてご教示ください。また、多くの方の日中プログラムの決定方法について次回の評価部会にてお示しください。</p>
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 初任者研修修了 ・ 強度行動障害研修受講予定 	
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 支援スキルの高いサービス管理責任者を置いているか。 	
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 社会福祉士・サービス管理責任者 ・ 相談支援従事者 ・ 介護、支援に関わる実務経験が10年以上有り 	
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 支援スキルの高い従業者を置いているか。 	
	<p>強度行動障害支援者養成研修修了者 3名</p> <p>介護、支援に関わる実務経験が3年以上の職員 9名</p> <p>介護職員初任者研修修了者 6名</p>	

※指定前の事前評価の場合は、その時点で予定している内容を回答して下さい。

項目	【事業所記入欄】 具体的な内容	【市町村協議会等記入欄】 要望・助言・評価
12 障害福祉関連事業における経験がない従業者に対する対応	<p>・事業所内、外部研修の年間受講計画はあるか。</p> <p>新人研修マニュアルを社内研修として習得（入社～6か月間）6か月経過しても各種マニュアルの再研修を実施 外部権利擁護・虐待防止研修を年2回行う。強度行動障害支援者養成研修及びその他研修を選抜して受講する計画となっております。</p>	<p>運営方針に沿った研修内容を用意して実施している様子が見え、重度の利用者が多い中で、対応の難しい強度行動障害者の支援に対して手厚く研修が用意されているほか、新人に対する研修が手厚く行われております。</p> <p>経験がある職員についても、定期的に内部研修の機会を設けることで、支援の振り返り・見直しができると思われま</p> <p>す。</p> <p>会社として資格取得を支援する取り組みが行われており、職員への待遇や育成に積極的に取り組まれている様子は評価できます。さらに、職員の資格取得への意欲が高まるような体制づくりや周知について工夫していただくにより良いかと思われま</p> <p>す。</p>
	<p>・資格取得への取り組みはあるか。</p> <p>資格手当、給与の等級制などの金銭面でのサポートや、実務経験を積んだ職員へのサービス管理責任者取得など、管理職を目指せるような育成体制を整えている</p>	
13 利用希望者の受け入れ可否の判断基準について	<p>・利用希望者の受け入れ可否の判断基準はあるか。</p> <p>基本的に重度支援区分の高い利用者様を主体で受け入れるを行っている。医療依存が高く医療従事者の対応が必要なケースや精神疾患にて慎重な対応が必要なケースなどは地域の訪問看護や往診医と連携して支援ができるかどうか検討をさせて頂いています。</p> <p>リフト浴付きとなっておりますので、車いす利用や身体介助が必要なケースは対応可能です。</p> <p>・実際に利用希望があった時に受け入れを断った例はあるか</p> <p>利用相談にて断った事例はありません。</p> <p>通所先との兼ね合いにより決まらなかった。家族との利用料の折り合いがつかなかったという事例はあります。</p>	<p>重度の方や支援区分の高い方を主体的に受け入れる方針のもと、積極的に受け入れている状況や、そのための体制・環境づくりに主体的に取り組まれている様子が見え、地域資源において貴重な施設であると感じます。</p> <p>重度支援区分の受け入れを主体的に行っていることは地域の受け皿としてありがたく、とても評価できます。</p> <p>一方で、区分判断での選定は様々な障害種別の対応に追われ、職員の負担が大きくなることも想定されますので、助言として受け入れにあたる一定の基準についてご検討ください。</p> <p>また、利用相談で断った事例がないことも柔軟性をもって受け入れを検討しており、ご家庭の声に耳を傾け対応している姿勢が感じられました。</p>

14 協議会からの要望、助言への対応（2回目以降記入）		
15 その他		<p>全体的に適正に運営されていると思います。重度の利用者が多いため、日中グループホームで過ごす利用者が多い傾向が感じられます。引き続き、外部サービス活用に向けた支援対応の充実を期待しています。</p> <p>要望として、重度の利用者が多い中、災害時の避難訓練等についてどのように対応されているかを次回の評価部会にてお示しください。</p>

※指定前の事前評価の場合は、その時点で予定している内容を回答して下さい。

報告・評価シート

【報告日 令和 5 年 6月 12日】

【評価日 令和 5 年 7月 5日】

項目	【事業所記入欄】							
1 施設概要	事業者名	しんわ松戸			人員配置	日中		
	指定日	2023年	2月	1日		世話人	生活支援員	
	所在地	千葉県松戸市中和倉467-1				6人	7人	
	定員数（共同生活援助）	20人				（常勤換算後）	（常勤換算後）	
	定員数（短期入所）	1人				6人	6人	
	共同生活住居数	21戸				夜間		
	【住居の内訳】	【定員数の内訳】				世話人（夜間）	世話人（夜間）	
	しんわ松戸ユニット1	10名				7人	人	
	しんわ松戸ユニット2	10名				（常勤換算後）	（常勤換算後）	
	しんわ松戸ショートステイ	1名				5人	人	
2 利用者状況 (令和 年 月 日 現在)	障害支援区分	人数			内訳	主な障害種別利用者人数（重複はそれぞれ記入）		
	非該当	1人				身体	総数：	0人
	区分1	0人					主に日中GHで過ごす人数：	0人
	区分2	0人				知的	総数：	12人
	区分3	0人					主に日中GHで過ごす人数：	0人
	区分4	3人				精神	総数：	2人
	区分5	6人					主に日中GHで過ごす人数：	0人
	区分6	3人				難病等	総数：	0人
	合計	13人			主に日中GHで過ごす人数：		0人	
	年齢	人数			内訳	障害特性		
	～20代	5人				医療的ケアが必要な者	0人	
	30代	4人				強度行動障害がある者	1人	
	40代	3人						
	50代	1人						
60代～	0人							

※指定前の事前評価の場合は、その時点で予定している内容を回答して下さい。

項目	【事業所記入欄】 具体的な内容	【市町村協議会等記入欄】 要望・助言・評価
3 設立目的・運営方針	<p>【設立目的】 別紙事業計画参照</p> <hr/> <p>【運営方針】 別紙事業計画参照</p>	<p>日中サービス支援型の目的を理解して運営されていると思われます。障害のある方が地域で生活に生きがいを持って暮らしてほしいという理念と利用者の意思や人権を尊重する基本方針は大切であると感じました。</p>
4 利用者の主な日中の活動について	<p>・GH内で主にどのような日中サービスを提供しているか。</p> <p>日中活動との差別化を図る為、生活に沿った内容の支援を重視している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ウォーキングや散歩等の健康面の支援 ・掃除や洗濯等の日常生活スキルの支援 ・食事や入浴、排泄等のADLの支援 <p>・外部の日中活動サービス等の利用人数及び内容について 前項「2 利用者状況」記載の利用者のうち、外部の日中活動サービスの利用者人数： 13 人</p> <p>(主な外部の日中活動サービスの種類を記入) 生活介護</p> <p>・外部の日中活動サービス等を利用していない方について 外部の日中サービスを利用していない方がいる場合は、その主な理由と、GH内での生活スケジュールの個々の事例を挙げてください。</p> <p style="text-align: center;">非該当</p>	<p>生活に沿った内容の支援を重視したサービス提供を行っており、細やかに対応されている様子がうかがえ、評価できません。</p> <p>外部の日中活動サービスについては利用者全員が利用している点が評価できます。今後、利用者の状態・状況の変化に応じ、サービス見直しの必要が出てくることもあると思いますので、引き続き生活支援を重視した対応を期待しています。</p> <p>助言として、利用者のニーズに就労希望はないかどうか、送迎ありきの支援に傾いていないかを今一度ご確認ください。</p> <p>要望として、入居者の年齢層が幅広く、ADLの程度も様々であるため、3：1の人員配置において個別支援がどの程度実施されているかを次回の評価部会にてお示しください。</p> <p>また、若年層の入居者が多く、ほとんどの方が週末も自宅に帰り、日中にホームでの支援を必要としていないことから、重度高齢化に対応するために設けられた日中サービス支援型の設立趣旨に合致しているか、通常のホームの支援と違う点について今一度ご検討ください。</p>

※指定前の事前評価の場合は、その時点で予定している内容を回答して下さい。

項目	【事業所記入欄】 具体的な内容	【市町村協議会等記入欄】 要望・助言・評価						
5 利用者に対する地域生活の支援状況について	<p>・利用者に対して外出や余暇活動の支援に努めているか。 (充実した地域生活を送るために行っている外出・余暇活動等の支援活動の事例を記入) 休日、行ける時には、近隣の散歩やドライブ等行うようにしている。</p>	<p>地域の町内会や自治会に事業所として加入し、利用者が地域のイベントに参加するとともに、事業所が主催する行事を地域住民への参加誘致を行うなど、相互にかかわりを持っており、地域と交流しやすい環境となっていると思われます。また、休日にも外出の機会を設け、余暇の充実に努めている様子がうかがえます。</p> <p>助言として、「行ける時」という表現は支援者目線を感じますので、そのような目線の支援になっていないかご留意ください。</p> <p>体験利用については開所して間もない中でも多く受け入れ、ニーズに応じた受け入れがされた結果、20名のうち13名が本入居に至った実績は評価できます。</p> <p>また、本入居前の家庭訪問の実施は、入居へ至る支援調整のプロセスとしてとても評価できます。</p> <p>現在は入居に向けての体験が多いと思われますが、満室時の体験利用をどのような形で実施されるかについてもご一考ください。</p>						
	<p>・体験的利用等のニーズに対応しているか。 (これまでの体験利用者の人数を記入) 20名</p>							
	<p>(体験利用の事例を記入) 体験期間として、2泊3日を基本とし、希望される方は4泊5日の体験利用を行っている。</p>							
6 同一敷地内に設置した通所事業所について ※該当する場合のみ回答	<p>・通所事業所の概要について</p> <table border="1" data-bbox="427 1002 1167 1134"> <tr> <td data-bbox="427 1002 757 1046">事業所名</td> <td data-bbox="757 1002 1167 1046"></td> </tr> <tr> <td data-bbox="427 1046 757 1091">サービス種別</td> <td data-bbox="757 1046 1167 1091"></td> </tr> <tr> <td data-bbox="427 1091 757 1134">利用定員</td> <td data-bbox="757 1091 1167 1134"></td> </tr> </table>	事業所名		サービス種別		利用定員		
	事業所名							
	サービス種別							
	利用定員							
	<p>・通所事業所での日中活動の具体的な内容</p>							
	<p>・日中支援型GH入居者の当該通所事業所の利用状況</p> <p>【GHからの利用人数】 人</p> <p>【通所の頻度】 1週間に 日程度</p>							
<p>・当該通所事業所以外にも日中活動の機会を確保できるよう実践している工夫・取り組み</p>								

※指定前の事前評価の場合は、その時点で予定している内容を回答して下さい。

項目	【事業所記入欄】 具体的な内容	【市町村協議会等記入欄】 要望・助言・評価				
7 地域に開かれた運営について	<p>・家族や地域住民との交流の機会が確保されているか。</p> <p>ご家族：入居後、GHでの生活に慣れて頂くため週末など定期的にご帰宅頂いている。（対象者：4～5名） 本入居の前に家庭訪問を実施し、ご家族様と事業所の関係構築に努めている。（対象者：8名 入居先のGH 3名）</p> <p>・実習生やボランティアを積極的に受け入れているか。</p> <table border="1" data-bbox="448 507 1146 595"> <tr> <td data-bbox="448 507 757 555">受け入れ人数</td> <td data-bbox="757 507 1146 555">実習生： 0 人</td> </tr> <tr> <td></td> <td data-bbox="757 555 1146 595">ボランティア： 0 人</td> </tr> </table> <p>（受け入れの事例を記入） 受け入れ実績なし、次年度以降検討中</p>	受け入れ人数	実習生： 0 人		ボランティア： 0 人	<p>入居前の家庭訪問や、グループホームでの生活に慣れていただくための定期的な帰宅等、独自の取り組みを行い、積極的に家族との関係構築や事業所との連携に取り組まれている点はとても評価できます。</p> <p>地域住民との交流機会の確保に努めてください。</p> <p>また、実習生やボランティアの受け入れについては、人材確保が課題となっている福祉業界において、人材育成の観点から必要かと思われますので、利用者の安全を考慮のうえ、受け入れをご検討ください。</p>
受け入れ人数	実習生： 0 人					
	ボランティア： 0 人					
8 短期入所の併設について	<p>・前年度の受け入れ人数</p> <p>2名</p> <p>・緊急・一時的な支援等の受け入れ人数と事例</p> <p>非該当</p>	<p>開所して間もないため事例が少ないながらも、週末に高校生の体験を受け入れるなどの柔軟な対応が見られました。引き続き、実績を重ねていただければと思います。</p>				
9 支援体制の確保について	<p>・日中・土日を含めた常時の支援体制が確保されているか</p> <p>人員配置区分 I型（3：1）に準じた配置基準で世話人／生活支援員を配置している。</p> <p>おもに平日日中は、常時10名以上配置しており、土日は、常時6～8名を配置している。</p>	<p>日中・土日とも十分な職員が確保されております。特に、利用者の主な障害種が知的障害である中で、世話人や生活支援員を常時10名以上配置されており、利用者の生活の安定を図る上で手厚い体制であると感じられました。</p> <p>また、夜間の職員体制の強化についても評価できます。</p>				

<p>10 相談支援事業者や他のサービス事業所との連携状況について</p>	<p>(具体的な連携状況の事例を記入)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本入居前の担当者会や入居に際して、常時確認等を相談支援専門員と連携を図っている。 ・既存利用中の生活介護事業所へ、見学や支援方法の共有などを行っている。(ワーカアウト様、ホリデー様、かぜ様) ・武蔵野北総クリニックと連携し、訪問診療の対応を行っている。(5月より) ・のぞみ薬局と連携し、訪問薬局の対応を行っている。(4月より) 	<p>本入居前の支援連携や入居後の事業所連携が密に行われており、利用希望者のニーズの把握やすりあわせを丁寧に行い、入居後の生活安定につなげており評価できます。</p> <p>また、生活介護事業所と連携を図り、日中活動の充実に努めている様子もうかがえました。</p> <p>訪問診療や訪問薬局といった医療機関との連携は、利便性の向上だけでなくグループホームに外部の人が出入りする機会にもなっており、素晴らしいと思います。加えて、訪問診療や訪問薬局を統一することは支援を行う上で効率的であると思われます。</p> <p>精神症状の悪化等が見られた場合に備え、入院病床がある精神科病院との連携について今一度ご確認ください。</p>
--	--	--

※指定前の事前評価の場合は、その時点で予定している内容を回答して下さい。

項目	【事業所記入欄】 具体的な内容	【市町村協議会等記入欄】 要望・助言・評価
11 従業者の資格取得 状況や実務経験について	<p>・支援スキルの高い管理者を置いているか。</p> <p>(必要な知識または経験として、障害福祉分野での経験やその従事内容、期間、研修の受講経験を記入)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・障害福祉に関わる業務歴10年（日中通所施設、共同生活援助サービス） ・介護福祉士資格 ・強度行動障害実践研修修了。 	<p>総じてスキルの高い職員が配置されており、業務経歴が長く、複数の資格を有している方を管理者やサービス管理責任者に据え、支援スタッフを支えて運営している様子うかがえました。</p> <p>介護福祉士を配置されていることは支援者、家族ともに安心できると思われれます。助言として、男女の利用者が同数である中で、職員配置は同性介助を念頭に置いていただきますようお願いします。</p> <p>また、要望として、資格や実務経験を生かした現場職員への実習や、日々の記録のチェック、支援についてのミーティングや、スーパーバイズの体制について次回の評価部会にてお示しください。</p>
	<p>・支援スキルの高いサービス管理責任者を置いているか。</p> <p>(必要な知識または経験として、障害福祉分野での経験やその従事内容、期間、研修の受講経験を記入)</p> <p>障害児入所施設に18年勤務経験があり、保育士資格を保有している。松戸市内でのサービス管理責任者の経験もあり、強度行動障害実践研修修了。</p>	
	<p>・支援スキルの高い従業者を置いているか。</p> <p>(障害者の日常生活支援等を行える経歴及び実績、資格要件を記入)</p> <p>障害分野での経験は浅いが、高齢者分野での経験がある支援スタッフが複数名配置している。</p> <p>介護福祉士資格保有者（4名）</p>	

<p>12 障害福祉関連事業における経験がない従業者に対する対応</p>	<p>・事業所内、外部研修の年間受講計画はあるか。</p>	<p>年間計画の中で幅広い研修内容を用意しており、基礎的な内容から、福祉業界の課題とされている内容まで網羅されていて、安全な生活づくりにつながる研修内容が多い印象を受けました。生活介護事業所と合同で年間の研修計画を作成されている点も素晴らしいと思います。</p> <p>加えて、落葉事故の経験をふまえ、服薬指導研修を実施するなど、現場に必要な研修を柔軟に取り入れている点や、職員全員が受講できるよう複数回に分けて研修を実施されている点もとても評価できます。</p> <p>助言として、現場の直接支援に関連する研修が少ないように見受けられますので、GHは生活を支える場であることから、日中支援とは別の研修課題も必要と思われるので、今後グループホーム独自の研修計画の作成についてご検討ください。</p> <p>また、研修講師を外部に依頼している点は望ましいですが、反面勉強だけで終わってしまう可能性もありますので、内部の職員による研修も実施いただくとより良いかと思われます。</p> <p>資格取得については、初任者研修及び国家資格等の取得補助や、合格した場合は返済の必要がない前貸しの制度など、法人として取得を促す取り組みされているように思われます。</p>
	<p>・資格取得への取り組みはあるか。</p>	<p>法人内の資格取得支援制度を活用している。 ※別紙</p>

※指定前の事前評価の場合は、その時点で予定している内容を回答して下さい。

項目	【事業所記入欄】 具体的な内容	【市町村協議会等記入欄】 要望・助言・評価
13 利用希望者の受け入れ可否の判断基準について	<p>・利用希望者の受け入れ可否の判断基準はあるか。 (ある場合、受け入れできる・できないを分ける判断基準の具体的な内容を書いてください) 明確な基準は、儲けていませんが、ご本人やご家族の不安を払拭するために体験を複数回行っている。</p> <p>・実際に利用希望があった時に受け入れを断った例はあるか (ケースの経過と事後処理の状況を書いてください) 新規開所の事業という事で、可能な限り家庭訪問を実施し、丁寧なモニタリングを心がけた。その上で、お断りをしなければならない時は、事情をきちんとお話しし、理解していただいた。</p>	<p>体験を複数回行うなど、提供するサービス内容を十分に理解していただいた上で入居する方針がうかがえ、受け入れにおける丁寧な支援プロセスが評価できます。入居希望者への家庭訪問はぜひ今後も続けていただければと思います。</p> <p>助言として、受け入れ可否の判断に差が生じないよう、受け入れ基準の作成や、判断基準の運営規定や重要事項説明書等への明記、入所判定会議の開催など、受け入れの可否について客観的かつ記録として残せるような体制の構築ができると良いかと思われます。</p>
14 協議会からの要望、助言への対応（2回目以降記入）		
15 その他	<p>(その他、独自の工夫点がある場合記入) ※設備のバリアフリー化や日中に外部の事業所を利用している方への送迎支援等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・隣接する場所に生活介護事業所があり、昼夜を通じた情報共有を行っている。 ・手作りのお食事等、家庭的で落ち着ける環境。 ・トイレ等はわかりやすくピクトグラムを掲示。 ・極力段差の解消によるバリアフリー化。※ユニット1 	<p>全体的に適正に運営されていると思います。家庭的な環境づくりやピクトグラムの掲示など、利用者が安心して暮らせる場の提供に取り組まれている状況がうかがえ、評価できます。また、隣接する生活介護事業所と連携がとられている点も評価できます。</p> <p>同一フロア内はバリアフリーが徹底されており、重度化・高齢化に対応した運営がなされていると思われませんが、現在の構造では、2階の男性フロアがADLの自立できる方しか受け入れられない状況となっており、ご説明いただいたようにエレベーターの設置が望まれます。</p> <p>また、助言として、介護サービス包括型のグループホームとの棲み分けを要する可能性がありますので、日中サービス支援型の意義に基づいたサービスの提供についてご留意ください。</p>

※指定前の事前評価の場合は、その時点で予定している内容を回答して下さい。